

教職大学院 NEWS

vol. 47

2023.4月発行

三重大学大学院教育学研究科
教職実践高度化専攻

教職大学院 7期生を迎えて



専攻長 織田 泰幸

7期生のみなさん、ご入学おめでとうございます。皆様のご入学を心から嬉しく思います。教職大学院では、教育と関連する理論や優れた実践について学ぶことができますし、それは他の人たちとの協働を通じて行われることが多いのですが、あらゆる「学び」は、突き詰めると「自分自身を知ること」につながっています。「『汝自身を知れ』』ということは教育の核心である」（アメリカの著名な教育者P.J.パーマー）という言葉がありますが、教職大学院における新しい出会いのなかで、みなさんはどんな新しい自分に出会えるでしょうか。これから始まる皆さんの学びが未来につながっていると思うと、今から楽しみで仕方ありません。ともに頑張りましょう！

7期生紹介

<p>大西 春菜 伊勢市立御園小学校</p>	<p>教職大学院で学ぶ機会をいただき、とても感謝しています。これまでの実践から見つけた自分の課題をもとに、現場とはまた違った環境で新しい学びや研究に励みたいです。子どもたちがいきいきと活動する授業をめざし、いろんな方との出会いを大切にしながら、2年間がんばりたいと思います。</p>
<p>越村 真希 津市立西が丘小学校</p>	<p>教職大学院では、自分の今までの指導や支援の在り方を振り返り、再構築していきたいと思っています。学校に行きづらい、学校で生きづらい児童や教師の心が、少しでも元気になる取組を考えていきたいです。この2年間で、たくさんの人の経験や考えに触れられることが、とても楽しみです。</p>
<p>曾根崎 藍 県立朝明高等学校</p>	<p>新しい環境に戸惑いながらも、これから始まる2年間が楽しみでしかたありません。「学びたい」と思うことが、こんなにも人を“わくわく”させるのかと驚いています。たくさんの方々との協力で得ることができたこの2年間で大切に過ごし、一つでも多くの学びを学校に持ち帰り、還元できるように学修に励みたいと思います。</p>
<p>太田 味佑 小学校志望</p>	<p>学部時代の教育実習では自分の力不足に気づき、現場に出ることに対する不安があったため、現場に出る前に実践力を付けたいと思い、教職大学院に入学しました。この2年間の学びでは、実際の学校現場や大学の先生方、現職の先生方、同年代の仲間など様々な人と関わる中で、教育についての視野を広げていきたいと思っています。</p>
<p>中島 大賀 中学校(理科)志望</p>	<p>教職大学院での活動内容に魅力を感じ、教員になることへの不安の払拭ができると考え、進学を決意しました。理学部出身で、教育に関しては初心者ですが、この2年間で学びや実践からなるべく多くのことを身につけられるよう努めていきます。胸をはって教壇に立てようがんばります。</p>
<p>水谷 匡伸 小学校志望</p>	<p>障害のある子どもだけでなく、ギフテッドの子ども・外国にルーツをもつ子ども・不登校ぎみな子どもなど、特別なニーズのある様々な子どもを包括したインクルーシブな学級作りを研究したいと考えています。子ども一人ひとりがつながり、学び合える理想の学級を2年後の4月から作っていただけるように、教職大学院では理論と共に実践力を身に付けたいです。</p>
<p>森田 琴美 小学校志望</p>	<p>教育実習等を地元の学校で行ったのですが、大学の友人と教育現場での経験を共有をした際に授業展開や指導方法などに相違点があることに気づき、とても驚きました。同時に、自分の持つ教育の視野がいかに狭いものであったのかを強く実感しました。2年間を通して、様々な地域の多彩な教育実践を見て学んでいきたいです！</p>

浅井 敬介 <small>中学校(数学科)志望</small>	<p>学部新卒の学生だけでなく、現職教員や実務家教員の先生方と共に考えを深めることができる環境での学びをととても楽しみにしています。大学院では、数学における生徒の自然な思考の流れを重視した図形の証明指導について研究します。2年間で実践的な指導力・展開力を身につけ、三重県の教育に即戦力として貢献できる教員をめざします。</p>
安達 加弥乃 <small>鈴鹿市立清和小学校</small>	<p>子どもたちに国語の面白さを伝えることや子どもたちの表現力を高めることの難しさを日々感じていました。教職大学院では国語科の授業においてICTで実現する「個別最適化学び」「協働的な学び」について学びたいです。さまざまな分野に長けた先生方や先輩方、同期の皆さんに刺激を受けながら成長できればと思います。</p>
紙谷 航希 <small>県立名張青峰高等学校</small>	<p>教職大学院では、高い専門性を持つ大学の先生方のご指導のもとで、現場での経験を持つ現職教員と新しい知識や考えを持つ学部新卒者が共に学修することができます。年齢、校種、専門性など異なる経歴を持つ方々と共に、専攻分野をはじめ、多岐にわたる分野において知識や考え方をアップデートし、探究していきたいです。</p>
喜多 一貴 <small>中学校(社会科)志望</small>	<p>私は人生における自分の核や芯となるものがこれまで出会ってきた様々な教師の生き方に憧れて形成されてきたと考えています。ですので、これまで以上に急速に変化するであろう世界の中でも、子どもが自らを信じて生きることができるための一つの指針を提供できる教師をめざしたいです。</p>
小島 一輝 <small>高等学校(保健体育科)志望</small>	<p>この三重大学教職大学院では、自分自身の教職に対する知識を更に獲得し、実践を積極的に行っていきたいです。私は現在までの長い間、ダンスを取り組んでいました。そのため、「ダンスの授業」について研究をし、ダンスの文化に触れてきた側からの視点で学校ダンスの可能性について追及していきたいです。</p>
小林 勇登 <small>桑名市立明正中学校</small>	<p>初任のころから多忙な日々を追われ、自らの実践をじっくりと省察することができずにモヤモヤとした日々と過ごしていました。そうして教職大学院への進学を志すこととなり、ようやくその夢をかなえることができました。このまたとない機会に感謝し、三重県の教育に少しでも多く貢献できるよう精進していきたいと思っています。</p>
末廣 隼祐 <small>小学校志望</small>	<p>私は他大学で小学校理科を主に学んでいました。その時の主免実習で児童が素朴概念を形成する過程を見たことで、概念形成や変化の過程やカリキュラムと概念形成の関係などに興味が出て進学を決意しました。様々な経験を積み、2年間を有意義なものにしたいです。</p>
土谷 明匡 <small>松阪市立久保中学校</small>	<p>今まで教員として現場で13年間勤める中で、改めてじっくりと時間をかけて自分の実践をふりかえりたいと思い教職大学院に志願しました。現場で出会った子どもの姿を起点とし、これからの未来を生きる子どもたちと一緒に学ぶことができる技術科教育のあり方について2年間仲間達と一緒に考えたいです。</p>
牧野 果恋 <small>高等学校(国語科)志望</small>	<p>三重大学教育学部では保健体育科に所属し、自身の運動能力の向上や運動をどのように教授するのかを学びました。その中で副免許として履修していた国語に興味を持ち、保健体育ではなく、国語の教員になりたいと思うようになりました。そして大学院で国語を教える力をつけ現場に出たいという気持ちから大学院進学を決めました。</p>
松原 健 <small>中学校(社会科)志望</small>	<p>自分の教師としての力に不安があったため、更に力をつけたいと思い教職大学院に入学しました。現職教員の人のと同じ立場で学ぶことができ、学部とは違う新鮮さを感じています。大学院では様々な角度から教育についての考えを深めていきたいです。</p>
村鳥 舞弥 <small>中学校(国語科)志望</small>	<p>卒業論文で研究した動物文学の教材価値について、さらに探求していきたいと、入学しました。学部ではあまり学ぶ機会がなかった研究の方法から学び、より良い研究に努めたいと思います。短い間ですが、2年間よろしくをお願いします。</p>
錦織 伸行 <small>小学校志望</small>	<p>演習や実習を通して、実践的な授業スキルを向上させたいと思います。また、現職の教員の方々と共に学ぶ貴重な機会なので、教師として大切にしなければならぬことをたくさん吸収したいです。専攻している特別支援教育を引き続き学修しますが、志望する小学校教員として活用できるよう、広い視野で学んでいきたいです。</p>

第1回 入試説明会 参加者募集中!

三重大学教職大学院で
学びませんか?

2023年 5月 28日(日) 13:00-15:00 (Zoomによるオンライン開催) ▼ 申込フォーム

・5/23(火)までに、申込フォーム(Google Forms)へのご記入をお願いします。

<https://forms.gle/LFFxSn45t9N18UQHA>

※お申込いただいた方には、5/25(木)に、Zoomの招待メールをお送りします。



編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻(教職大学院)入試・広報部会

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 ☎ info-mkd@edu.mie-u.ac.jp

三重大学教育学部・教育学研究科ホームページ <https://www.edu.mie-u.ac.jp/>